



# つるがしま里山サポートクラブ 通信

第20号  
2025.07.01  
発行  
小澤邦彦  
編集  
杉山行汪

## 埼玉県緑化等功労者として表彰される 代表 小澤 邦彦

第75回全国植樹祭で「埼玉県緑化等功労者」として表彰されました。

私たちNPO法人つるがしま里山サポートクラブは、秩父ミュージックパークで開催された「第75回全国植樹祭」において、団体の部で埼玉県緑化等功労者として表彰を受けました。

大会テーマは「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」、スローガンは「～私たちは『活樹』を進めていきます!～」。全国的に森林蓄積量は増加している一方、木材自給率は依然として低く、「伐って・使って・植えて・育てる」サイクルの重要性が指摘されています。

当団体も、里山の減少と森林蓄積量の低下という地域課題に対し、木の伐採・活用・植樹・育成を実践、市民の森での整備や子ども向けの自然体験活動を通じて、次世代への継承にも取り組んでいます。

式典当日は、泥まみれになりながらの植樹や、天皇陛下ご臨席のもと行われた表彰式が行われ、長年の活動が評価された喜びと今後への決意を新たにしました。



## 第21期通常総会が開催されました 副代表 佐野 英樹

4月26日、第21期通常総会が開催されました。

柏木理事から本総会が成立していることが報告され、次いで小沼理事を議長に、金会員を書記に、吉井理事と牛島理事を議事録署名人にそれぞれ選出した。

第1号議案 「令和6年度(20期)事業報告」

小沼理事、佐野理事、吉井理事、牛島理事が各事業実施内容を報告し、承認された。

第2号議案 「令和6年度の決算報告と会計監査報告」

牛島理事が決算書、貸借対照表、活動分野別費用について報告し、吉田監事が定款に基づく事業が実施されていること及び決算が適正処理されている旨を報告し、それぞれ承認された。

第3号議案 「役員の変更」

現役員は2年間の任期が満了となるので、以下の新役員が選任された。

新理事は、小澤 邦彦、吉牟田 ツル江、佐野 英樹、小沼 英二、石川 利江、牛島 哲雄、吉井 優、柏木 美之、井上 富美、小澤 弘、柳川 豊彦、小嶋 道弘、杉山 行汪(以上再任)、石樽 卯一、金 隆(以上新任)の計15名である。

新監事は、吉田 常男(再任)、風祭 みさ子(新任)の計2名である。

第4号議案 「令和7年度事業計画及び予算計画」

小沼理事、牛島理事、吉井理事が各事業計画及び予算計画を説明し、承認された。特に①高倉市民の森における活動が大きく制限されること。②小学校での環境学習支援活動、保育園等でのイベント参加。③組織強化及び里山減少を防止する観点も含めICTを活用した広報活動及び法人会員加入促進に取り組むこと。④鶴ヶ島千本桜構想実現に向け苗木増殖を図ること。等が説明された。

その後、今後の活動についての提案や情報交換が行われ総会を終了した。

## 4月～6月の主な活動

新学期が始まってから杉下小学校とのお付き合いが始まりました。これまでは主として藤小学校と藤金の森を舞台に里山の自然環境を伝えてきましたが、杉下小は怒涛の如く色々なメニューを考えてきてどこまで期待に添えるかです。まずは授業で市民の森を教えたり、五味ヶ谷の森でこれまで生徒が経験したことのない穴掘りや年輪数え、竹の伐採やのこぎり作業を行いました。藤小の方は藤金の森で川に入って魚とり、竹細工、ハンモック乗り等経験をしました。市民の森が無くなるとこうした経験をする場もなくなってしまいます。教育現場は里山の大切さを認識しているのでしょうか。

- ・4/24 杉下小森案内(第1回) ・5/7 杉下小里山説明会(第2回)
- ・5/20 藤小自然学習会(第1回) ・5/28 杉下小森の体験会(第3回)
- ・6/17 藤小森の体験会(第2回)

今後の予定

- ・杉下小 7/2竹取り 7/4七夕祭り 日程未定 流しソーメン
- ・藤小 日程未定 流しソーメン

高倉の市民の森の民有地の多くの土地が、市民の森の契約を解除され、これまで活動してきた森が大幅に縮小しました。残された市有地でどのような活動が展開できるのかが大きな課題です。

太田ヶ谷に開設されたグリーンパークで、里山体験会を開催し、多くの小学生と親御さんが参加されました。この企画は毎年続けて行くことでしょう。

これまで定例的に実施してきた大谷川の清掃、アペルトの自然体験学習、小彼岸桜の新芽採取、東市民センター結桜まつりに参加、市環境まつりに参加、等々行事数が増加傾向が続いています。

新規の行事として里山ランチ会を始めました。発案者の動機は何年かして身体が思うようにならなくなっても付き合いは続けたいと言うことです。これだけに出てくる会員も発生することでしょうね。

### 4月～6月 活動実施

- 4/6-7(日・月)製材小屋・製材機の移設
- 4/19(土)東市民センター結桜まつり参加
- 4/20(日)太田ヶ谷の森笛掘り行事協力
- 4/26(土)通常総会
- 4/27(日)太田ヶ谷の森蛍の放虫協力
- 5/ 5(月)親子で楽しむ笛掘り  
同日藤金の森枯れ木の伐採
- 5/ 9(金)小彼岸桜の新芽採取
- 5/15(木)里山ランチ会
- 5/18(日)大谷川クリーン大作戦
- 5/20(火)藤金の森整備
- 5/24(土)毛呂山プレーパーク協力
- 6/ 1(日)太田ヶ谷の森里山体験会
- 6/ 6(金)アペルト体験学習協力
- 6/ 7(土)市環境まつり参加
- 6/9・12・20 作業小屋製作継続
- 6/14(土)高倉の森市有地整備

### 7月～9月 活動計画

- 7/ 9(水)会員バーベキュー
  - 7/26(土)ボランティア体験会 in 五味ヶ谷の森
  - 8/ 9(土) ボランティア体験会 in 太田ヶ谷の森
  - 8/30(土) ボランティア体験会 in 藤金の森
  - 9/ 6(土)里山体験会 in 藤金の森
  - 9/17(水)逆木倉庫整備
  - 9/27(土)樹木医指導による里山樹木点検
- スケジュールは追加や変更が有りますので、当クラブHPを確認して下さい

## 『里山ランチ会』を開催

副代表 小沼 英二

当クラブは、市民の森の整備活動等を通じて会員間の親睦を図ることを目的とすると定款でうたっています。一方、クラブ設立から23年がたち、平均年齢も74歳(実働者)と高齢化が進んでいます。このまま推移するとクラブの肉体的な諸活動が難しくなる会員の方も出てくることとなります。そこでおしゃべりを目的とするランチ会を開き、会の活動とは少し異なる親睦の場を設定しました。



今回は9名の会員が集まり、会談中に各自の趣味についてのトークタイムを取り、各人より発表がありました。～海外旅行、手品、アマチュア無線、山登り、家庭菜園、菊作り、温泉巡り～等様々なことを皆さん実践していることが分かり、楽しい時を過ごすことができました。この会を定期的で開催しようということになり、次回は、9月16日(火)、12時～、同場所(満洲鶴ヶ島駅前店)としました。会員以外の方も含め、興味のある方の参加を募集します。案内は時期が来たら別途、通知します。

## 里山サポートクラブ22周年(未来へ向けて)

監事 吉田 常男

これまでの22年間のボランティア活動の取り組みが国において高く評価され、2023年度には2回もの大臣表彰・大臣賞を授与されました。

このことは、会員において達成感等を得られたことと思います。素晴らしい成果であります。市役所勤務時代に係わったものとして感謝しています。

会員の皆さまにとって、「里山を通じたボランティア活動」は趣味であり、地域交流でもあります。こうした取り組みは、社会貢献を通じて他人とのつながりを深めることで心の安らぎと幸せを育み、健康管理、生き甲斐にも繋がるものと思います。

これからの20年に向けて、課題でもある、このように会員にとって有意義な「里山を通じたボランティア活動」の機会を、継承、継続「継続は力なり」するために人材確保(会員獲得)等の取り組みをしていかなければならないと思います。そのためには活動の原動力となる、会員相互の親睦を計る楽しむ機会(親睦会、飲み会、ランチ会等)を設け、会員同士の繋がり(仲間作り)を深めることが得策と思います。

また、「認定NPO法人化」の取り組みを進めることは、活動資金確保等(自立自尊)の上からも有益なことと思います。

これからも健康に留意して、様々な活動にチャレンジして、楽しんで「里山を通じたボランティア活動」を盛り上げていきましょう(未来に向けて、社会貢献、仲間作り、健康管理、生きがい)。

## 杉下小学校野外体験学習

理事 吉井 優

里山クラブが小学校の野外体験学習に協力したのは、2016年に藤小学校の向田校長からの依頼を受けたのが最初の活動でした。藤小は近くに藤金市民の森があり、毎年藤金市民の森を会場とした野外体験授業を行っています。2023年には、埼玉県ホームページにて、流しソーメン体験などで「特色ある体験学習」実施校として紹介されました。

その後2019年には、栄小学校から野外体験授業に協力依頼があり、五味ヶ谷市民の森を会場にハンモックと竹細工体験を行いました。2022年にも再度栄小から依頼があり体験学習を行っています。

以上のように、2校から野外体験授業のお手伝いを行っていましたので、五味ヶ谷市民の森の近くである杉下小学校でも野外体験授業を行う提案を、地元の杉下地域支え合い協議会や、杉下小学校学校応援団を介して提案していました。杉下小学校は、30アールを超える学校の森があり雑木林で、自然を守る会が自然学習に協力しているとの情報があり、五味ヶ谷市民の森の役割が伝わっていないのではとの心配がありました。今年度から杉下小学校3年生担任の藤田先生が、藤小から転任して藤小の体験授業で行った流しソーメン体験を見ており、杉下小学校でも同様な体験をするプログラムを提案してきました。

第1回は、4月24日の市民の森の紹介で、3年生に、竹林の案内をしたところ、興味津々でした。第2回は、5月7日に、教室で市民の森と自然についてわかりやすい講習を行いました。第3回は、5月28日に、穴掘り体験と年輪調査・竹切り見学を行いました。特に竹切り見学では、切断した竹をお土産として、大事に抱えて帰る子どもたちの姿をみて、五味ヶ谷市民の森の竹林の価値が爆上がりしたようです。これから、七夕かざりや流しソーメンなど竹を使った体験に喜ぶ子供たちの姿を想像して、五味ヶ谷市民の森体験のお手伝いが楽しみになりました。



### はじめに

私は1950年1月15日 神奈川県横須賀市生まれ。埼玉県とはご縁が有りませんでした。1968年3月高校卒業後、東上線の運転士要員として東武鉄道に入社しました。東上線は池袋～寄居間74.9kmでその中間が鶴ヶ島駅です。当時の駅舎は寄居方に向かって右側のみで、上下線の線路を挟んで両側にホームが有る相対式ホームであり、130mのホームには屋根は有りませんでした。下り列車に乗るには構内踏切で線路を渡り、下りホームに渡らなければなりません。その下りホームの直ぐ脇は雑木林でした。

平日夕方の寄居行6両7300形・7800形6両編成の運転を担当するとホームいっぱいにお嬢様達に注目される数秒間でもありました。

鶴ヶ島に引越したのは、1997年。運転関係の仕事は得意でしたが営業関係は苦痛の仕事で、最後の7年間は明日辞めるか、来週にするかと先延ばししているうちに2010年3月に無事定年を迎える事が出来ました。晴れて自由の身となり、太田ヶ谷に借りていた畑を耕す事に集中しました。

皆さんから言われた事は、無事定年おめでとう。よかったね。それ以外は何も言われなかったし聞かれなかった。

着古したズボンやシャツに手拭のネクタイ、長靴を履けば一人前の農業従事者。毎日雑草との格闘は会社にいた頃には考えられない生活ですが地元の人と知り合いになる事が大きな財産となりました。

### やきもち

昭和30年頃の鶴ヶ島は茅葺屋根の農家が点在し、畑や田圃、小川や沼には泥鰌や鯰の他、鰻も生息していたそうです。また、今の時代と違ってスーパーやコンビニも無く、商店と言えば駅周辺に何軒かありましたが殆どの家庭では自給自足の生活が基本でした。子どもは野原で駆け回り、川で魚を捕ったり、木にのぼったり、遊び疲れた3時頃になると縁側でお茶の時間。お婆ちゃんが作ってくれた砂糖醤油のたっぷり浸み込んだやきもちを皆で食べるのが唯一の楽しみでした。

やきもち、そのまま聞けば嫉妬するあの やきもち ですが、これは具の入っていないお好み焼き。

忙しい農作業の合間に小麦粉を水で溶き、フライパンで焼いた後に砂糖醤油を付けて食べる鶴ヶ島の簡単なおやつ。通りがかりの人に“お茶飲んで行かない”と、気軽な声掛けで情報交換が出来るふれあいの時間でもありました。

### 廃棄される親芋

畑も60坪から300坪・1000坪・・・現在約2800坪の面積になり雑草の様に生命力があつて食べられる植物の研究？や、里芋栽培に適している土地なので近所や知人に食べていただいて、太田ヶ谷の里芋は美味しいと好評を得ています。

里芋は種芋を春に植えて、霜が降り始める晩秋が収穫時期。皆さんがお店でお買い求める里芋は子芋や孫芋が販売され、収穫された里芋の中で一番美味しい部分を召し上がる事になります。

里芋の煮っ転がし美味しいですね。その美味しい里芋を毎年作る為には来年用の立派な孫芋を真っ先に種芋として選び出し、その後で子芋・孫芋を出荷します。

余った親芋はどうなるのかと申しますと、大きいものは直径10cm程の巨大な芋で見てくれも悪く不味い（ジャガイモの食感）ので一株に必ず1個の親芋が有ると言う事は栽培した数だけ親芋があつて、殆どの場合、畑で廃棄されてしまいます。勿体ないことを行っていますが、私は親芋を助ける為にカレーの中に入れてたり、コロッケ（ジャガイモの代用）と活用した他、親芋を種芋に使い、食べる収穫量を多くしています。（次号へ続く）

（元会員 鶴ヶ島注連縄会代表）

### 編集後記

三か月の短い期間に色々な出来事がありました。機関紙は組織の理念・方針と活動報告が基本ですが会員の日常も大事です。第19号で退会者からその後の活動を寄稿して頂いたら自分も書きたいと言う方が現れました。長いので連載にします。現役の方も日常の些事を書いて下さい。里山通信が里山広場になるかもしれませんね。

